

堺の伝統  
彩りの芸術

# 注染・和晒

17世紀初め、水量豊かな石津川沿いの津久野・毛穴(けな)地域で、綿布から不純物を取り除き漂白する和晒(わざらし)の産業が興りました。戦後、戦火に遭った大阪市内の注染業者が毛穴地域に移転し、染色加工業が和晒産業と結びつき堺に根付きました。鮮やかな色合いと自然なぼかしを入れて染め上げられた綿100%の通気性の良い柔らかな和晒は、手ぬぐいやゆかただけでなくマスクやエコバッグなど幅広い用途で重宝されています。注染は一昨年、「浪華本染め」として国の伝統的工芸品に指定されました。協同組合オリセン(☎06-6261-0468 FAX06-6261-2685)が堺注染和晒興業会(☎273-2147)、ものづくり支援課(☎228-7534 FAX228-8816)



## 製造工程をご紹介します



工程です。ヘラには職人さんの指跡がくっきりついているくらい、力のいる作業です。

### ①糊置き 晒し上がりの白生地を

糊付台の上に敷き、木枠に型紙を固定します。その上からヘラを使って防染糊(ぼうせんのり)という染料を通さない特殊な糊を均一に伸ばしていきます。糊置き・生地を折り返しは相当な技術が必要で、その後の染めにも影響する重要な工程です。



### ②土手づくり・注ぎ染め

糊置きされた生地を染め台の上に置き、図案を確認しながら慎重に防染糊を絞り出して、土手と呼ばれる囲いを作ります。「どひん」と呼ばれるじょうろで、土手からはみ出ないように染料を注ぎ、下からポンプで吸い取って生地を染めていきます。表と裏にこの作業を丹念に繰り返すことで、表裏のない注染ができ、色と色が混じり合う独特の色合い、絶妙なタッチや立体感を表現していきます。



③水洗 染め終わった生地を水洗いし、糊や余分な染料などを洗い流します。長い洗い場で泳がせたり、振り洗ったりと、機械と人の手で生地を洗います。



### ④立干し(だてぼし)

十分に水洗いの終わった生地を脱水し、天日や室内の乾燥設備で変色しないようすぐに乾かします。高く組まれた梁(はり)の足場まで反物を持っていき、丁寧に梁にかけていきます。乾いたら、点検を兼ねて巻き上げ、しわ取りをして、寸法に合わせてカットします。全行程、職人の手作業だからこそ、ひとつとして同じものがない美しい注染が出来上がります。

協同組合オリセン 理事長 小松隆雄さん



注染は、糸の中まで染めるので通気性が良く、肌触りの良い風合いに仕上がります。特に堺の注染は多色使いが特徴です。微妙な色の違いも染料を調合して表現します。柄や色合いによって季節を感じられるので、額に入れて部屋に飾るのもおすすめです。

## こちらで お求めいただけます

普段使いや堺のお土産に注染・和晒はいかがですか。

- ▶通販サイト「イーモール堺 堺いち」
- ▶堺伝統産業会館 (下記参照)
- ▶協同組合オリセン 販売ショップ



## 浪華本染め展

市役所本館1階で手ぬぐい、ゆかた、道具の展示と注染の実演を行います。アンケートに回答いただいた方(先着100人)には和晒(無地)をプレゼント! 無料 直接会場へ

展示 4月23・26~28・30日  
9~17時(23日のみ13時から)

実演 4月26~28・30日  
10時・11時30分・13時30分・15時から  
(各回30分程度・先着8人程度)

4月1日 open 堺伝統産業会館

## 堺刃物ミュージアムがリニューアル



所在地 堺区材木町西1丁1-30 時間 10~17時  
休館 第3火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始  
アクセス 阪線線妙国寺前から約130m



堺伝統産業会館2階の堺刃物ミュージアム(愛称「CUT」)が一部リニューアルオープンします。刃物の歴史や製造工程、包丁の種類や使い方などさまざまな切り口で堺刃物の魅力を紹介します。1階には実演見学や体験ができるワークショップスペースも新しくでき、匠の技をより間近で楽しむことができます。世界中で称賛を受ける堺の刃物について知り、感じ、体験してみてください。堺伝統産業会館(☎227-1001 FAX227-5006)が堺市産業振興センター(☎255-1223 FAX255-5200)

### モニュメント「火刃七」【左写真】

刃物づくりの数ある工程から7つを選び、その素材で作られたシャンドリアです。「火」を放つところから始まる「刃」物づくりの「七」つの工程を選んで制作していることから「火刃七(HIBANA)」と名付け、刃物ミュージアムのシンボルとして展示しています。

### さまざまな種類の包丁【右写真】

約600年の歴史を持つ堺の刃物について、ルーツや特徴を詳しく紹介。鍛冶で使用するベルトハンマーや包丁、はさみの製造方法などを、実物やイラストを使いながら分かりやすく解説します。生活の中での使い方や普段見ることが少ない包丁などについて知ることができる展示です。



●マスクの着用・こまめな手洗い・消毒・うがいをし、3密を避けましょう。